

令和6年度の重点課題

◎情意面

【男子】

・「運動やスポーツをすることがやや嫌い」と答えた生徒の割合が、9.09%である。

【女子】

・「運動やスポーツをすることが好き」と答えた生徒の割合が、37.5%である。
 ・好きと答えた女子の割合が、男子の半分である

◎体力面

【男子】

・「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

【女子】

・「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「ハンドボール投げ」が他の種目に比べ、県平均値かつ全国平均値よりも伸び幅が低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

◎体育の授業

・ウォームアップ内容の見直しを行う。（筋力、柔軟性の強化）
 ・指示や説明を簡潔にし、運動量を確保する。（1時間に30分以上）
 ・単元に応じて、主運動につながる体づくり運動（主に体力を高める運動）を、ウォームアップで取り入れる。

◎体育の授業以外

【小中一貫校である強みを生かした取組】
 ・本校の中期ブロック（5～7年）で、体を動かすレクリエーションを計画し、体力の向上につなげる。保健体育科教員が、専門的な知識や技能を小学生に指導する。
 ・高めたい運動能力を共通認識し、9年間を通した系統的な体力づくりを考える。

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	28.36	22.40	37.09	49.30	60.82		8.26	198.27	17.60	36.50	第2学年	22.00	24.75	50.50	44.50	39.00		8.68	170.00	12.50	48.75

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	28.36	22.40	37.09	49.30	60.82		8.26	198.27	17.60	36.50	第2学年	22.00	24.75	50.50	44.50	39.00		8.68	170.00	12.50	48.75

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	54.55	27.27	18.18	0.00	第2学年	50.00	50.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

独自調査なし。

重点課題

情意面での課題

【男子】
 ・「やや嫌い」と答えた児童の割合が、18.18%である。

体力面での課題

【男子】
 ・「立ち幅跳び」以外の項目で、県平均および全国平均を下回っている。
 【女子】
 ・「握力」「反復横跳び」「20mシャトルラン」において、県平均および全国平均を下回っている。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・ウォームアップ内容の見直しを行う。（筋力、全身持久力の強化）
 ・指示や説明を簡潔にし、運動量を確保する。（1時間に30分以上）
 ・単元に応じて、主運動につながる体づくり運動（主に体力を高める運動）を、ウォームアップで取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

【小中一貫校である強みを生かした取組】
 ・生徒会や委員会を中心に、体を動かすレクリエーションを計画し、体力の向上につなげる。
 ・高めたい運動能力を共通認識し、9年間を通した系統的な体力づくりを立案する。
 ・体力テストの結果を分析し、懇談会等家庭と連携することで、健康のための体力向上を図る。

令和8年度の重点目標値

・「運動やスポーツをすることが好き」と答える生徒の割合を、男子・女子ともに60%にする。
 ・男子、女子ともに「握力」「反復横跳び」を、県平均値かつ全国平均値以上にする。
 ・男子、女子ともに「20mシャトルラン」の数値を約5ポイント上げる。（男子65、女子45）